〔大正五年十一月二十日第三種郵便物認可〕　昭和十年二月五日　磐城新聞　〔火曜日〕　第四千二百四十一號　〔一〕

夕刊
磐城新聞
二月四日發行
定價 一ヶ月 [illegible]（郵稅拾五錢）
廣告料 普通 一行 金六拾錢 特別 一行 金九拾錢（五號十二字詰）（場所指定一行一圓増）
編輯印刷兼發行人 [illegible] 福島縣石城郡平町 [illegible] 西町十六番地
發行所 磐城新聞合名會社 平局私書函第十二號 電話五大四番
〔日曜祭日翌日休刊〕

東北地方振興卑見 二

衆議院議員
海軍中將 八角三郎

特に我國發展の基礎たるべき石油は秋田縣、山形縣の開發を急務とし、鐵は岩手縣を以て我國唯一の埋藏地とし、我國は實に將來此の資源によらざるを得ざるの運命にあり。今や世界各國爭ふて其開發に熱中しつゝある金は全東北六縣皆多大の埋藏量ありて、之れが開發を待ちつゝあるの狀態である。唯僅々此の數種を擧ぐるのみにても明なる如く、我東北開發の根幹は實に此の地下の富源開發を以て唯一のものたらしむべきであり、地下の富源の開發には何等天候の支障を受けず、東北開發振興の唯一のものたり得べく、從つて國家に於て適切なる計劃を定め、適當の指導補助を與へて、極力之れが遂行に當らざるべからざるを信ずるものである

第三は、地下の富源の開發にしろ、工業の振興にしろ、農村の副業にしろ、漁業にしろ、皆必要なるは動力である。而かも東北地方には良好なる石炭の埋藏なしと稱せらるゝも、要するに未知數であると共に石油は豐富であり、殊に電力は寧ろ無限に之れを得るの可能性充分なり。唯現在に於ては資本の關係よりして他地方より電力の高價なるは二は産業の開發に支障を來しつゝあるに非ざるやを思はしむ。故に將來國家に於て適切なる指導補助を加へば、湖水の利用、河川の利用は無限の動力を得べく、地下の富源の開發と相俟つて産業勃興し、獨り東北地方の關係のみならず、實に我國の一大富力を爲し得べしと信ず

○

第四は東北地方の民力を涵養するの第一として、先づ土地の實相收益に即したる租税を定め、即ち地方民の收益に相當程度まで負擔の輕減を速に實行すべきである。尙は又地方開發は何んと云ふても交通網の整備である。政府は私營鐵道の發達にならひて徒らに收益のみを基礎とせず國有鐵道本來の使命に鑑みて、最も速に交通網の整備完成を計るべきである

第五は、東北地方自らは從來の如く一縣一縣に區別して相互に競ふ如き弊を避け、卒先して互に割據的弊を去り打つて一丸となり、相協力すべきものなりと信ず

潮聲硯靜抄帳

例會席上互選

川前溪谷

燃屑を捨つる水邊や花八ッ手　何鳴

湯豆ふのゆらぐ豆ふをみつめゐる

湯豆ふの豆ふくづれて沈みけり

湯豆腐の湯氣にくもりし眼鏡哉

湯豆ふの昆布はかりとなりにけり

花八ッ手こぼるゝ門を辭しにけり　柴子

敷石に日影短し花八ッ手

かこみたる湯豆ふたきりそめにけり

寄贈書目

△國民法律二月號　質問鑑定、判例、法窓問答其他讀物多數例の如し（一部十五錢、東京市芝區二本榎一ノ四七其社）

△兒童と家庭同上　地方關係としては、童謠詩梅と黑牛（島田忠夫）傳說イギリス梅（市原里川）等あり（一部二十錢、東京市下谷區上野櫻木町九其社）

その日〳〵

2月5日

△淸艦定遠號を威海衛に沈む（明治二八）△日露國交斷絕（同三七）△鎌田榮吉氏逝く行年七十八（昭和九）

節分――。○

小供のやうな氣持になつて、福は內、鬼は外の豆をまいた。

秋の自然

磐女校友會誌 かをりから

一年 塙一子

いつしか虫の聲も聞えなくなつて、朝晩めつきり寒い時候となりました。秋の空は高く秋の山は美しい。[illegible]始る。私の山は美しい。此の頃の四、五日許の雨に今迄土の下にもぐりこんでゐた茸が『によき〳〵』と出そろつた。秋から枝へと飛びまはつてゐる可愛い百舌鳥四十雀目白などの美しい聲を聞く度に本當に秋が來たのだとしみ〳〵思はせられる。紅葉も山を彩つてゐ

庭のこすもすに赤い蜻蛉が止つてゐる。鈴なりになつた柿の實が日の光に輝いて眞珠のやうにくつきりと浮び出てゐる。待ちに待つた運動會もう僅かばかりである。秋になるといろ〳〵の面白い事等がたくさんある茸狩、栗拾ひ、紅葉狩さま〴〵の遊び事がたくさんあ

る。お彼岸過ぎは晝夜の長さが大分違ふ。夜風呂に入つて寢ようと思つて時計を見ると未だ七時である。本當に夜が長くなつた。母達は冬の仕度にとりかゝつてゐる。世の人が秋は燈下親しむの候だと言つたやうに秋は本といふものに親しくなるのである

講談

戸隱奇譚 山の怪秘

(101)

丸山寬雄 作
眞木浪 畫

追分走馬燈 （二）

瀧之丞と結托した、岡庭興膳とその一味の手によつて淺間山頂へ駕籠で運ばれた、刈馬平七郎の身はどうなつたか

少しくさかのぼつて話して置かねばならない

岡庭一味の駕籠屋は頂上噴火口の近くに來たとき、岡庭興膳がかねて旨を含ませてあつたものか四邊に人氣無きを見すまし

『えいッ』

と、掛け聲鋭く右手をあげた

途端、刈馬平七郎の入つた網駕籠は、入手を離れて噴火口の斷崖から二、三度岩角に當つては跳ね上りして、灰色の噴煙渦卷く噴火口の中へ墜落して行つた

これを見屆けた岡庭と、その一味はさつさと山を下つてしまつた

さて、噴火口に落ちた駕籠は果して煙と化したか。いや刈馬平七郎は正氣に返つて更生したのである。斷つておくが、噴火口へ一旦落ち込んだ以上左樣な荒唐無稽なことはあるまいと思ふ讀者のために、實地に就て立證し、刈馬平七郎の身を徒らに興味本位に生き返らせたのでないことを明かにしやう

淺間噴火口の南側は、下に行くに從ひ、中途から大磐石の如き燒石が突き出てゐて、投身自殺者は大低こゝに引つかゝつてしまふ。從つて淺間しい男女の情死體が噴火口から容易に發見されることは珍しくはない

現に筆者も一水兵と女の情死體を、偶々登山した折に眺めたことがある

刈馬平七郎は駕籠ごと、この大磐石の上へ投げつけられたが、打撲傷を受けて苦悶してゐるところを、折よく上から覗いた講社の人々に發見された

『おゝ、あそこに動いてゐるものがある、何だらう』

『どれ、どこに！』

『あの横から突き出た一枚岩の上だ、ほら手足を動かしてゐる』

『なるほど、見える、ひよつとすると靑鬼かも知れねえ』

朱印を無暗に押した白裝束の行者姿の人々が足許を氣づかひながら、重なりあつて覗き込んだ

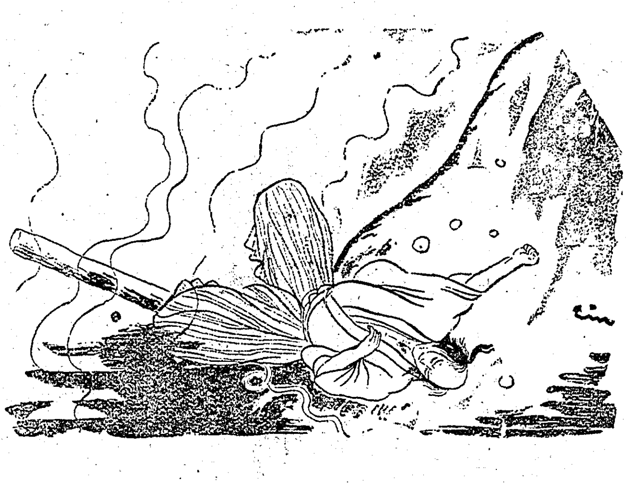
『うんにや、鬼ちやねえ人間だ、このまゝ見遁しにや出來ねえ、皆の衆手を貸してくれ、助け上げやう』

白裝束の中でも、一際背丈のいかつい、先達が皆の中から進み出て來て、重大事件を發見したやうに叫んだ

そこへ誰かゞ即座の機轉で、神岩へぐる〳〵卷きにしてあつた御幣のついた繩を引摺り出して來た

『これだ、これだ』

人の山が左右に崩れる、繩の先端へ小石を結びつけて、するすると手繰り下された。一同の行者達はしかと繩の端を掴んでゐる。うまく引張り上げやうとするのだ



刈馬平七郎は、駕籠諸共岩の上へ、いやといふほど抛り落されたが、壽命未だ絕ねなかつたものか、咽せかへるやうな硫黃の臭氣が卻つて、更生の刺戟となつて意識を取戻したのだ。暫くは立上る力もなく手足を無暗と動かして悶ね苦しんでゐた處を、端なくも、この行者達に發見されたのだつた

ふと上を見ると灰色の噴煙の中を透して、晴れやかな靑空が見え隱れしてゐる

これを眺めた時、始めて自分は、この噴火口の中へ落されてゐるのだといふ意識があつた。よし此上は如何にしてはひ上らう、さう思つて遮二無二身體をのたうたせてゐるところへ、救の繩が下りて來たのだ

平七郎は立上つて取れば取れる場所へ繩尻が下りて來たが、それでも身體が利かないので、ぢつと手に觸れてくるまで待つてゐた、やがて救・の繩が目の前に來た、平七郎はこれを掴みとると左脇下から背中の方へ通して、上半身を緊く縛つた、そして彼は再生へとおもむろに引き上げられるのであつた

廣告

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

株式賣買、債權取立
合資會社 三共商事
平町大町電三六〇

吉例正月二日
景品付割引初大賣出し
（但し壹升ニ付十錢ヅヽ）
銘酒 近盛
馬目支店
田町大通り電話二五四番

舊正二日 景品附特價大賣出し
一本で十年完全無缺を誇る
錦綱傘
各位樣も是非一度御使用して眞價をお試し下さい
尚名入註文に應ず
郡代理店
磐城平五丁目
田口はき物店
電話三七七番
（小僧さん入用）

●旧二日市―大特價・景品サービス！
中野洋品店の初賣！
便利で重寶な商品券を御利用下さい
◎舊正月二日、三日景品呈上◉
㊣中野洋品店
平二一〇 電五十三番

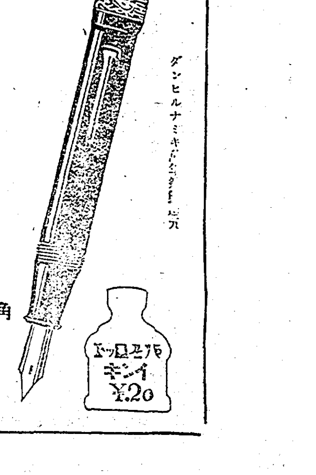
吉例福引景品付
初大賣出し
舊正二、三の二日間
御買上一圓毎に福引券一枚進呈
平町一町目
和久井屋漆器店
電話四〇五番

火鉢附煉炭特賣延期
賣行良好ノ爲メ御禮トシテ、二月六日（舊正月三日）迄延期致シマス。
福島縣、宮城縣、岩手縣、茨城縣ノ一部
代理店 酒井伴城商店 電六六一
濱三郡特約店 三丁目 磐崎屋酒店 電六六三
四倉 昭和産業合資會社 電一八
地方販賣店 四丁目 菅野屋肥料店
四丁目 渡部米店
小名濱 磐崎屋本店
湯本 草野雜貨店

新古書籍大賣出し
毎度多大なる御贔負有難ふ御座いました。
本年も東京津田某書店の整理品を引受け恒例 舊正月二日より十日迄特別大賣出しを致しますれば何卒多少に不拘御求めの程を御願致します。
平町五丁目大工町通り
片寄書店

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
（電話一二九）
病室完備

新裝パイロット
一舊正月來仕
壹本金三圓以上へ
丸形・認印・無料・彫刻
壹本 二圓・二圓半へ
御名入無料
期間・舊二日より十日間
五ヶ年保證・修理無料
パイロット專門特約店
角忠 佐々木商店
平紺屋町角公園前
電話二二三番
振替仙台一二二〇番


ダンヒルナミキ
パイロットインキ
¥.20

鑛業株賣出
第一鑛業株（全額拂込）五分配當
相場二拾二圓三十錢位（利廻り年一割一步强）
御報次第店員參上詳細御說明致シマス。
公社債株式現物賣買
角治株式店
福島縣平町田町五四
電話七三番

産科
婦人科
花柳病科
午前宅診
午後往診
入院應需
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

耳鼻咽喉科專門
病室完備
自炊ノ便アリ
平町田町（電六九一）
山内醫院
醫學士 山内亨吉

月曜論壇

道路舗裝に希望

新田町の一部破損

雨雪の場合と雖も泥濘飛散の交通禍無く、歩むに憂々の快き感觸を有する舗裝道路は、少くとも最頃來平つ子に與へられた矜持の一つであつた、而も之が漸を追ふて全町の大部に及ばんとする形勢に在るに於ては所謂都市計劃の完成によつて遠からず近代都市の体系を整ふる大平町の美觀に一段拍車するものとして、鋪裝區域擴大の一日も蚤からん事を念願して居た折柄、新田町の簡易鋪裝が既に夙くも破損の個所を生じ、之儘放置する時は日ならずして凹凸參差の舊態に還元する事火を睹るが如く、完成以來今日に至る期間が餘りに短時日なる丈け其間些か幻滅の悲哀に呆然たらざるを得ぬものがある、而して一般の期待を裏切つて白日下に暴露された醜狀は恐らく周章狼狽の下に文字通りの糊塗彌縫が行はるるであらうが、破綻は單り既發の數個所に止まらず今や寒煊の過渡期に當面し隨所に其の缺陷を露呈するものと觀ねばならない。即ち新田町の鋪裝設計が如何に技術的に觀て粗笨であつたかは、蓋し照々たる事實によつて一點掩ふべからざるものあるが、右は職として財源に束縛された工費の低廉が必然的に工事の恒久的强靭性を保障出來ぬ程度のものならざりしや、と云ふ同情的觀測も行はれぬでも無いとは云ふものの、其の當否は姑らく論外とし、既記の事實によつて少からぬ代償の下に最も尊重すべき實物教育に接した自町の鋪裝問題は今後爲すべく尚は多くを殘されてるので、今にして之の失敗を發見した事は、寧ろ其の殃を最少限に止め得べき點に於て、また不幸中の幸と稱すべきであらう吾人敢て當局の過誤失態を指摘し妄りに顧眄自ら雄とするものならんや、要は最も細心周到の注意を之に拂はれん事を望むのみ、舊元朝に小緣起でも無いが一言爾か云ふ

試練の日迫る

子女＝教員＝家庭＝深刻な悩みの三重奏

最受驗難は商業か？

男女中等學校の受驗生は、最後の試練日が愈々目睫に迫ると共に、昨今殆ど夜うち朝かけの大馬力を掛けて居るさま、當の兒女と擔任教員と各家庭とが、眞に血涙の慘む惱みの三重奏だ。何れ近く開かれるであらう縣下の校長會議に於て試驗に關する細目が定められ願書受付期日なども其の上で發表されるであらうが、從來の例によると大抵今月の下旬から來月上旬へ掛けて行はれてゐる。そこで試驗の難易を支配する受驗者の數であるが、某消息通の各方面から綜合した觀測なるものを聽くと

磐中＝募集定員二百五十名と云ふ縣下の大校、百名位の定員にすら滿たず、教職員が草鞋がけで應募者の狩り出しに狂奔すると云ふ新設群小校とは斷然その趣を異にして既記の定員に對して尚ほ多數の過剩を來すが例、濱の不漁、山村の冷害などには餘り關係の薄い方面の子弟を收容するので今年も減る樣な事は無く、寧ろ幾分の增加を豫想するが至當とあり隨つて受驗難の緩和は望み薄とある

磐女＝磐中を遙かに凌いだ受驗難の同校も今春から定員が一躍五十名殖やされ磐中同樣二百五十名となつたので、從來の合格率約半數が六割五分內外になるので其間試驗地獄を緩和される事が夥しいが、定員の殖ゑる割程ではないにせよ恁うした關係から力づけられ、應募者も自づと增加する事となるべく依然油斷はなるまいとの事

商業＝町立の乙種と云ふ點で或る時代には一寸安價に値ぶみされぬでもなかつた同校も先年三年制度が五年制度になり、且つ卒業後の賣れ行きが矢野校長獨特の開拓振りによつて最近百%の好成績を擧げて居る爲、親も子弟も此の學校を望むものゝ多い處へ、定員は逆に約百十名の少數なので結局受驗難の隨一は同校と觀られてゐる

貯金ある身で救護願

圖々しい老夫婦に　平署で嚴戒を加ふ

平町杉平一七無職宮澤兼吉(七七)妻サダ(六二)の老夫婦は一昨年一月以降昨年六月一日迄丸一年半町の濟生會から一日五十錢宛救護されてゐたが最近救護が止つたので兼吉さんは再三その繼續方を願ひ出たが一向埒明かぬとて此程平署に泣きついたので同署で町役場に照會した處同人等は現在三百圓の貯金があり乍ら救護を幸ひと安逸を貪るべく再び縋りついたものと判明今四日呼び出されサン／＼油をしぼられ引下つた

軍國の春を謳歌

入營見送りの增加を語る驛統計

平驛に於ける去月中の入場券賣上は七、六一五枚、三八〇圓七五錢で前年同期に比し驚く勿れ二千五十二枚、百二圓六十錢（四割）といふ微笑ましい增收であるが、之は入營兵見送り人の激增を示すもので新春早々軍國の春を謳歌された證據である

夏井川に風速計

暴風時の事故豫防

水戶管內で一個所決定

鐵道當局では昨秋瀨田川鐵橋上列車倒壞に鑑み暴風時の對策として比較的危險な箇所に風速針を備ふべくその箇所を詮衡中であつたが經費關係から水戶管內では夏井川橋梁附近に一箇所と決定昨三日東鐵運轉課より近藤技手其の他來平實地を踏查したが之が記錄器は平驛ホーム內運轉助役室に裝置すると

地方米騰貴

今四日の前年對比

郡內に於ける去月中の玄米受檢俵數は一萬九千百三十八俵で二三割の減收と言はれ乍ら前年同月に比し逆に九百十九俵、一割を增加して居るが之は受檢倉庫の增加と農家が受檢の利益を自覺したためでこの結果凶作と相俟つて今年の米價は斷然高く四等買入今四日の俵十圓七十錢は前年同日より二圓五十錢の高値である

江口氏に弔電の波

二日午後に百五十

平局の電信が昨今新正月以上の繁忙を見せて居る折柄二日午前江口忠一氏の訃が發せらるるや全國同業者からの弔電は同日午後丈けで無慮百五十通に上つたと

平局奉仕事項論文募集

平局では先に公衆サービス改善の一端として局內から施設事項論說を募集したが提出者二十三名で昨三日一齊に賞品を授與した、尚この論說中實行し得るものは既に實行に移したが經費や規模の點で實行し得ざるものは主事會議局長會議等に提案すると

春光麗か

好天氣に展開さるる明日の恒例賣り出し

全町に横溢する舊正氣分

賣る方も買ふ方も夫々異つた意味で待ち構へた二日市。愈々あすぞその日である、今朝拋り込まれた新聞がドサリと許り何時に無い重みを思はせたも道理、黃白青紫とり／＼の撒きびらが十數種類も折り込まれ、而も智能の總動員によつて作り上げられた標語擬きの客釣り文句と、割の强い景品の羅列とは、此際斷然買らでは置かじの魅力を以て人に迫る廣告戰を序奏に、氣の早い處では昨日あたり既に骨組みを了した各商店の買り場景品引換場も群青の筆太々と大布看板が揭げられ、自動車、自轉車の往ふさ來るさの目まぐるしい光景に、二日市氣分はヒルから早くも全町に横溢した。今夜は宵の內から大戶を卸して緩くり休養に入り午前零時前後から一番乘りの顧客を待つ事にならう、晴れの舊元旦に引續き賣出しの明二日は絕好の買初め日和たるに間違ひは無さそうである

線路を枕に

春に背く

青年（縣立農學校出）の自殺

深い家庭的の悩みからか

赤井村赤井木田正(三三)は昨三日午前零時半頃郡山市外富久山村久保田地內磐越西線上り列車で線路枕に自殺を遂げたが、同人は一昨年岩瀨農學校を卒業したものだが家庭に複雜した事情があるらしい

萬引常習の日雇捕はる

平町立町一〇一葬儀日雇志馬捨重郎(五二)は昨年十一月下旬頃二丁目フデヤ洋品店事北村辰藏方及四丁目ツルヤ洋品店事豬狩庄平方兩店舖より前後四回に亘り子供洋服、メリヤス、ジャケツ(價格五圓餘)を掻つ拂つたのに味をしめ去る二十日夜は四丁目林子供洋服店より子供ジャケツ二着を萬引、づう／＼しくもその翌日盜品を持つて再び同店を訪れ『これは數日前買つた品だが子供に合はぬから取り替へてくれ』と一杯喰はせんとした事がバレて平署に突き出されたので目下餘罪取調べ中

。。。。留置者に雜煮

横山署長の心やり

横山平署長は今四日の舊元日に際し留置者八名に夫々雜煮を振舞ひ、正月氣分を分つたので、一同此の心やりに感激してゐたとか

萬引のはしり

舊元旦早々檢擧

双葉郡木戶村上塙生れ高川晴己(一六)假名―は今四日午前十時頃平町田町丸新デパート內吉田豐方から煙草入れ一個(價格三圓)を萬引せんとして發覺、平署に檢擧

坑內で現場員を毆る

手の早い支柱夫檢擧

好間村大字北好間字三反田隅田川炭鑛支柱夫手塚辰吉(四四)は二日午後七時半頃同鑛元山坑採炭場に於て作業上の事から現場員中川清(三三)と喧嘩となり所持のピツケルで同人の頭部、左腕に全治十日間の傷害を負はせ今四日平署に檢擧

平局去月中現金取扱高

平局去月中の現金動靜は爲替受八三五、七六七圓七二錢、拂出五八、七〇二、一一　外國同拂出一七二、二五　振替貯金受入三五、六九五、一七、拂出九九、一〇七、九二　貯金受入一二一、五〇六、四八　拂出一二六、八〇二、七八五で前年同月に比し外國爲替拂出が百四十二圓二十五錢の增を示してる以外出入何れも一割乃至二割の減を示して居るが、之は今年の新舊正月の間隔が昨年に比し狹まつた結果で悲觀材料ではないと同局では觀察してる。

混雜の街頭早くもスリ横行を始む

好間の農夫して遣らる

好間村上好間農中目直次郎は昨一日午前十時頃平町三丁目マルトモ角通りで買物中現金十三圓餘在中の蟇口一個を掏られ平署に屆け出た

。。。。。中堅農民同窓發會　湯本町中堅農民同窓會支部發會式は六日午前九時より水野谷會堂で擧行

。。。。郡農會協議　石城郡農會では來る八日午前十時より平國体事務所に於て評議員會、翌九日は總會を開き豫決算並會則の變更を附議

。。。。製炭講習終了。上、入遠野兩農會では聯合で去月五日より上遠野村折松山林內に於て縣山林課大竹龜藏氏により木炭改良講習會開催中であつたが五日午前十時から現地で修得式を擧行、受講者二十五名

運轉區域を制限

芋の子を洗ふ雜踏中

交通禍絕無を期す

平署では年一度の雜踏を見越し例年通り私服警官を各商店に張り込ませる一方最も人の出盛る午前八時から午後四時迄の各自動車は左記個所で夫々乘替えさせ、交通禍の除去に努むる

湯本方面―長橋町、好間―好間軌道、四倉―六丁目、赤井―才槌小路菊地自動車部前

。。。。。江筋管理者決定　群馬縣に轉任した元小川、鮫川兩水利組合管理者縣教育課長長瀨英一氏の後任は地方課事務官宮澤清氏就任

。。。。。木炭支部總會　濱三郡木炭同業組合支部長會は六日午前十時から平國体事務所に開き十年度事業を協議

舊の大晦日をさ迷ふ

二人連れのモヒ患者

役場から藥料を惠まる

自稱岡山市花畑町五五生れ元乾物商早川健治(三五)妹愛子(三三)の兩モヒ中毒患者は一昨二日平町を通行中發病町役場から醫料を惠まれた

お披露目

品澤から舊正目ざして出現した『壽々子』今夕の豆まきで完全に鬼すら相好を崩すとか、番茶も出ばなの十八になる妓

。。。只飮。

大浦村狐塚洋服職若松義雄(二四)は去月二十六日夜平町田町カフェー福壽軒事金子福藏方で四圓七十錢の只飮をした外鎌田遊廓その他飮食店で同樣數件の只飮を働いた事發覺、二日四倉署に檢擧

五日（立春）

（小名濱測候所調査）

日出	六、三五	月出前	七、二一
日沒	五、〇八	月沒後	七、〇五
滿潮	前五、四〇　後四、五五	干潮	前一一、一〇　後一一、五〇

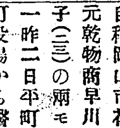
列車增結

今四日から開始

平驛では今四日より九日迄左の通り同驛上野間の增結を計る

（上り）前五、一五　同七、三三―各一輛、同九、〇〇―二輛、午後五、〇五―一輛

（下り）前一一、〇一　後七、三七　同九、二七―各一輛　同一一、五二―二輛



舊火曜新
一壬子二
月友引月
二開五
日翼宿日

諸判定應需
東京市本鄉區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神讃館

▲一白の人　出來さうに思はれても小故に妨げられ易き日▲二黑の人　昇るべき階に足をかけ居りても進まぬ日▲三碧の人　働きかひの現れ來る日午前中が尤も吉なり▲四綠の人　奇策妙案は却て事を損ず地味に働くが吉し▲五黃の人　動もすれば吉運隣に外れ行かんとす注意日▲六白の人　先にのみ走りて後の始末を忘れぬ樣すべし▲七赤の人　自己裁斷は總ての失敗を招く基となるべし▲八白の人　榮達も夢の如くに消ゆることあり自重大切▲九紫の人　進みて宜し引込み思案は損旅行移轉等も無事

廣告

一般電機捲替並ニ修理
發電機
セルモータ
蓄電池
マグネットチーアジ

久野電氣工業所
平紺屋町
（呼電）三六六番

天下一品マヅイ
素人料理
おでん　榮ちやん
花ノ里　新田町

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

◎國民は一讀の義務を有す

簡易輸血研究所長　前川雄氏著

肺病は必ず治す!!　結核讀本　（定價金五十錢）

附、肋膜炎、腹膜炎

◎有史以來、かくの如く簡單に、短時日に該病を治して更に再發せざる方法を聞かず。

◎該病にて惱みつゝあるお方は御遠慮なくお問合せ下さい。

取扱所　平町二丁目　堀藥局

舊正月二日
景品付大賣出し

吸入用酸素　純度99%

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ

体溫器
寒暖計

◎秤ノ取 [illegible] 致シマス

關內藥局
電話四〇番

商品券御利用下さい

貸切の御用命は「尼子タクシー」へ

六四〇番

御願致します

長距離は御相談に應じます

一日　十日　─体溫計の檢査日です

新設　檢機

お宅の體溫計は？

◎正確な体溫計を御使用下さい
◎毎月十日の檢查日御利用下さい

度量衡計量器　指定販賣人

西村屋藥局
平二。電三番

父堀江工業株式會社取締役社長江口忠一儀去月三十一日突然發病藥石効無ク二日午前八時五十分死去致シ候間此段御通知申上候

追テ來三日午後二時不取敢茶毘ニ附シ十九日午後二時長橋町性源寺ニ於テ佛式ニテ葬儀相營ミ候

一月二日

平町撥槌小路

男　軍二
親戚　江口清
總代　堀江定一

堀江工業株式會社
代表　鈴木唯治